令和３年
弘前市スポーツ賞

市スポーツ賞は、長年にわたり体育・スポーツの普及振興に努めた個人や団体のほか、全国のスポーツ大会などで優秀な成績を収めた人などを表彰するものです。2月15日に表彰式典が行われ、受賞者・受賞団体に表彰状と盾が贈られました。

■問い合わせ先　スポーツ振興課（☎40-7115）

▲スポーツ功労賞、社会体育優良団体賞、スポーツ大賞を受賞した皆さん

※敬称略

スポーツ功労賞

阿部憲夫（弘前ソフトテニス協会顧問）
加藤裕（桔梗野学区体育協会参与）
松尾毅（弘前市野球協会常任理事）
三上勇作（弘前卓球協会副会長）

社会体育優良団体賞

弘前ラージボール卓球協会

スポーツ大賞

村上来花（陸上）
土屋正恵（スキー）

スポーツ優秀賞

樋口遼（水泳）
藤原優大（サッカー）
福眞瑠菜（ボクシング）
小島埜和（体操）
葛西太夢（体操）
春藤新体操クラブ（新体操）
開坂優（スキー）
棟方翔也（一輪車）

スポーツ敢闘賞

石澤美菜海（陸上）
工藤加奈（陸上）
渋谷月姫（テニス）
第二中学校男子卓球部
マロージャミル高尚（相撲）
松田佳大（ボクシング）
一戸洸斗（ボクシング）
小森康平（ボクシング）
弘前学院聖愛中学校体操部
阿部ことみ（体操）
相馬広夢（体操）
松山瑛人（体操）
津軽中学校男子バスケットボール部
佐々木杏花（バスケットボール）
秋谷詩（バスケットボール）
蒔苗結衣（バスケットボール）
齋藤和（バスケットボール）
工藤未羽（バスケットボール）
千葉羽尋（バスケットボール）
藤田茉倫（ウエイトリフティング）
東中学校卓球部
弘前レッドデビルズ（軟式野球）
柴田学園高校ソフトボール部
第一中学校男子バドミントン部
第一中学校女子バドミントン部
林瑛太（バドミントン）
加藤竣太（バドミントン）
相馬泰智（バドミントン）
齋藤五珠星（ラグビーフットボール）
肴倉采香（ラグビーフットボール）
中村まい（ラグビーフットボール）
松田涼那（ラグビーフットボール）
幅野真子（ラグビーフットボール）
藤森晶（ラグビーフットボール）
町井風羽（ラグビーフットボール）
山田優希美（ラグビーフットボール）
髙谷望実（空手）
宮川侑子（スキー）

令和３年
弘前市文化奨励賞

市文化奨励賞は、文化芸術の分野で優れた成績をあげた小・中学校、高校等の児童・生徒、ならびに文化部を表彰し、今後の活動を奨励するものです。２月15日に表彰式が行われ、受賞者に表彰状が贈られました。

【受賞者】
酒井埜愛さん（書道／弘前大学教育学部附属中学校１年）
小山内優月さん（舞踊／弘前大学教育学部附属中学校２年）
吉原優さん（意見発表／弘前実業高校３年）

■問い合わせ先　文化振興課（☎40-7015）

暮らしのInformation

●弘前市役所　☎35-1111
●岩木庁舎　☎82-3111／●相馬庁舎　☎84-2111
F…ファクス　E…Eメール　H…ホームページ　問…問い合わせ・申込先

広報ひろさきに掲載した各種催しについて

広報ひろさきに掲載した各種催しや教室などは、新型コロナウイルスの感染予防と拡大防止の観点から、中止や内容が変更となる場合がありますので、ご了承ください。詳しくは市ホームページまたは各問い合わせ先で確認を。

また、催しなどに参加する際は、マスクを着用するなど、感染症対策へのご協力をお願いします。

イベント

まちなかクラフト村特別企画

【函館からの海峡の風「九谷青窯展」】

九谷焼の中でも独特の作品と製陶で特徴がある「九谷青窯（くたにせいよう）」を紹介します。若手の作家がデザインから絵付けまで一貫して製作するスタイルの作品を、ぜひご覧ください。あわせて、函館の工芸品も展示・販売します。

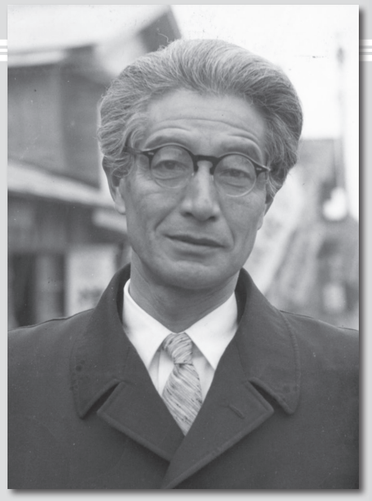
▼**とき**　３月24日（木）～31日（木）の午前10時～午後４時（最終日は午後３時まで）
▼**ところ**　藤田記念庭園考古館（上白銀町）２階ギャラリースペース
▼**入場料**　無料
問はこだて工芸舎（☎0138-22-7706）

鳴海要記念陶房館の催し

【織り展～手織り作品とヤノフ村の絵織物～】

▼**とき**　３月25日（金）～28日（月）の午前９時～午後４時（最終日は午後３時まで）
▼**出展**　塩崎裕子さん
▼**観覧料**　無料
問鳴海要記念陶房館（賀田字大浦、☎82-2902、午前９時～午後４時、火曜日は休み）

郷土文学館 第46回企画展
「追憶と郷愁の詩人 一戸謙三」



弘前市出身の一戸謙三（1899〈明治32〉年～1979〈昭和54〉年）は、ヨーロッパ近代詩の影響を受けた自由詩、津軽方言詩、定型四行詩「聯（れん）」など、広く実作・評論などに取り組み、若い詩人らの指導にもあたりました。『津軽方言詩集 ねぷた』（1936〈昭和11〉年）でその名を知られる謙三ですが、長く書き続けた抒情詩（じょじょうし）もまた優れた魅力を持つものです。本展は、その抒情詩の魅力に光を当てるとともに、長い詩歴の変遷を読み解き、一戸謙三の詩業の真価にあらためて迫ろうとするものです。

▼**期間**　４月１日（金）～令和５年３月21日（火・祝）の午前９時～午後５時（入館は午後４時30分まで）
▼**ところ**　郷土文学館（下白銀町、追手門広場内）
▼**入館料**　高校生以上＝100円／小・中学生＝50円

※障がい者、65歳以上の市民、市内の小・中学生や外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。年齢や住所を確認できるものの提示を／あおもり県民カレッジ単位認定講座。

【臨時休館のお知らせ】
３月22日（火）～31日（木）は、展示替えのため休館します。

問郷土文学館（☎37-5505）